

令和6年度
一般財団法人松本市芸術文化振興財団
事業概要書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

第1 財団運営の基本方針

1 所管業務

令和6年度は、引き続き松本市から指定管理者の指定を受けて、美術館施設2館、文化芸術施設3館の管理運営を行います。

施設ごとに運営目標を定め、市民の文化芸術にふれる機会と活動する場の提供により、文化芸術活動の推進に努めます。また、自主事業については、各施設の強みを活かした事業を実施するとともに、地元ゆかり出演者による公演や、芸術性の高い作品から娯楽性のある作品の公演まで幅広く行うことで、質の高い芸術文化に市民が親しむ機会を提供します。

教育、福祉、観光など、あらゆる分野で文化芸術の力が活用されるよう様々な分野と連携し、地域活性化や観光振興にもつなげていきます。

施設区分	施設名	開館時期	指定管理の区分		
美術館	松本市美術館	平成14年4月	期間：R4/4/1～5年間	特命指定 (非公募)	委託料方式
	松本市梓川アカデミア館	平成3年1月	期間：R4/4/1～5年間		
文化芸術施設	松本市音楽文化ホール	昭和60年10月	期間：R5/4/1～5年間	特命指定 (非公募)	委託料と利用料金制の併用
	まつもと市民芸術館	平成16年8月			
	松本市波田文化センター	平成7年4月			

2 財団の組織強化

(1) 経営の健全化

会計・税務事務を適正に執り行うため、引き続き税理士などの専門家から支援を受けるとともに、職員のコンプライアンス意識の高揚とコスト意識向上を図るため、各種研修を実施します。

事業の実施にあたっては、事業収入の向上や補助金等の活用により事業の拡充を図り、健全な運営を目指します。

(2) 財団改革

「財団改革の基本方針」（平成18年3月策定）並びに松本市の「外郭団体等への市の関与のあり方の基本方針」に基づく経営計画に沿い、財団の機能強化を図ります。

また、職員への人事評価、定期昇給及び退職金の導入による人事制度の改善や、各種労働関係法に適切に対応するため、社会保険労務士のアドバイスを受けると共に、適正な人材配置や効率的な業務プロセスの構築など、機動的な組織整備を実現していきます。

(3) 連携強化

令和5年度から、文化芸術施設3館一括での指定管理者の指定を受け、今まで以上に施設間の連携を深めてまいります。

また、施設間のみならず、様々な分野で活動している団体や企業、文化施設との連携を深め、文化事業の充実を図る事業を展開するなど、新たな鑑賞者層の拡大に努めます。

3 職員体制

令和6年4月1日予定

単位：人

区分		部長級職名	人数	課長級職名	人数	係長級職名	人数	職名等	人数	計
事務局	市職	局長	1	次長兼 会計課長	1	次長補佐兼 会計係長	1			3
	財団							一般事務	2	2
	計		1		1		1		2	5
美術館	市職			副館長	1	副館長補佐	2	主事	1	4
	財団							一般事務 ショップ店長	1 1	2
	計				1		2		3	6
梓川アカ デミア館	市職			館長 (美術館副館長 兼務)	(1)	館長補佐 (美術館副館長 補佐兼務)	(2)	主事 (美術館主事 兼務)	(1)	
	財団							一般事務 学芸員	1 1	2
	計								2	2
音楽文化 ホール	財団	館長	1	館長補佐	1	係長	1	一般事務 企画制作	5 1	9
	計		1		1		1		6	9
市民 芸術館	財団	芸術監督団 館長	(3) 1	館長補佐	1	プロデューサー 舞台技術部長 係長	1 1 1	一般事務 企画制作 舞台技術	6 4 7	22
	計		1		1		3		17	22
	波田文化 センター	財団	館長	1			係長 (企画制作事務)	1	一般事務	1
計			1				1		1	3
合計	市職		1		2		3		1	7
	財団		3		2		5		30	40
	計		4		4		8		31	47

第2 各施設の事業計画

1 松本市美術館

活動方針

1 基本目標

- (1) 松本市美術館が公立の施設であることを十分認識し、利用者サービスの向上及び施設の適切な維持管理に取り組みます。
- (2) 美術館が目指す「四つの場」〈鑑賞・表現・学習・交流の場〉を踏まえた施設の管理運営を行い、美術館が生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいと潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

《鑑賞の場》 美術資料の鑑賞に適した展示環境を創出し、地域や世界の優れた美術作品を身近に鑑賞できる機会の充実

《表現の場》 市民の芸術活動の発表や展示ができる表現の場の提供を通して、未来への発展を展望する美術遺産の創成

《学習の場》 生涯学習を推進する学習拠点として、各種学習機会を市民に提供し、未来の芸術文化の担い手となる人材の育成を図り芸術文化に親しむ環境づくり

《交流の場》 美術館活動を通じて地域に開かれた身近で親しみやすい交流の場、ふれあいの機会の充実

2 令和6年度の重点的な取組み

(1) 来館者サービス・施設管理業務

来館者に対するホスピタリティの高い案内・対応を心がけ、あらゆる世代が「また来たい」「また利用したい」と思っただけの施設運営に努めます。

ア 受付・案内、常設展示室の監視：作品の保護とともに、日常的に接客研修を行い、親切・丁寧な接客を行います。

イ 貸館業務：円滑な利用に向けた案内を実施します。

ウ 設備管理・保守点検・清掃：作品の保存、利用者が快適に過ごすことができるよう、適正な温湿度管理、清掃等を行います。

エ 来館者サービスの充実：受付周りの混雑緩和のため、オンラインチケットの販売促進を行います。

(2) ミュージアムショップ運営業務

常設・企画展示室に続く第3の展示室と位置づけ、お客様に「来館の記念と愛着をお持ち帰りいただく空間」を目指した企画運営を行います。

ア 心地よい空間づくり

イ 展覧会、イベント等に連動した企画・販売

ウ 所蔵品・所蔵作家や、地域をテーマとした企画・販売

エ オリジナル商品の開発・販売

オ ショップ袋の一新・有料化

(3) 環境整備

施設の適正な維持保全を通じて、利用者、観覧者の満足に結びつく環境づくりに努めるとともに、安全管理、災害時等の避難誘導體制等の強化にも努めてまいります。

3 利用促進対策

(1) 施設管理業務等に関しては、来館者アンケート等利用者の意見を参考に運営の改善を図り、リピート利用の促進に努めます。

(2) 市の美術館ホームページリニューアルなどの広報強化に協力してまいります。

4 市主催事業との連携強化

コレクション展示や企画展、教育普及事業の実施やPRに協力し、企画力及び集客力の向上に努めます。

美術館事業一覧

(参考：市直営事業のため、財団の収入支出なし)

1 企画展示							
令和6年度の企画展開催にあたり、広報や運営のサポートを中心に積極的な事業協力を行います。							
	事業名 事業内容	開催期間	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	ブラック・ジャック展	4月13日から	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	手塚治虫の医療マンガ「ブラック・ジャック」の魅力と現代社会へ与える影響を、貴重な原画、資料をもとに紹介する展覧会	6月2日まで	30,000	—		—	—
2	北欧の神秘展	7月13日から					
	ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの19世紀後半から20世紀初頭の芸術に焦点をあてた展覧会	9月23日まで	25,000	—		—	—
3	香取秀真展	10月12日から					
	香取秀真の金工作品を一堂に展示し、歌人としての側面も捉えた秀真の全貌を紹介。さらには松本平との関係についても顕彰する展覧会	12月1日まで	10,000	—		—	—
4	ロートレック展	1月18日から					
	フィロス・コレクションのロートレック作品と関連資料の中から、大判のカラーポスターやリトグラフ、日本初公開となる素描、石版、画家本人による手紙などを展示する展覧会	4月6日まで	25,000	—		—	—
計			90,000				
2 常設展示							
草間彌生作品の拡充展示を継続してPRするほか、上條信山・田村一男記念展示室、池上百竹亭コレクションの展示などについても、積極的にPRを行います。							
	事業名 事業内容	開催期間	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	草間彌生 魂のおきどころ	4月1日から	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	常設展示室全スペース利用し、草間彌生作品を展示	3月下旬		—		—	—
2	上條信山・田村一男記念展示室、池上百竹亭コレクション	4月1日から	103,000				
	年4回展示替えを行い、多様なテーマで収蔵品を紹介	3月下旬		—		—	—
計			103,000				
3 教育普及（ワークショップ等）							
より広い年齢層、市民の芸術文化に対する多様な学習要望に応じ、計画的に幅広い講座を実施し、美術館らしい技術体験の創出を目指すという市直営事業への協力を行います。							
	事業名 事業内容	開催期間	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	「異形の宴」展	5月11日～	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	展示（工芸の五月美術館ステージ）	5月19日	—	—		—	—
2	建築家とめぐる城下町みずのタイムトラベル	5月中に	—	—		—	—
	ツアー（工芸の五月美術館ステージ）	数回予定					
	その他数回、企画展に合わせたワークショップを予定（企画検討中）		—	—		—	—
計			—	—		—	—
合計			193,000				

2 松本市梓川アカデミア館

活 動 方 針

1 基本目標

梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示のほか、松本市西部地区の文化・芸術を通じた生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成が図られることを目指します。

2 令和6年度の重点的な取組み

(1) 事業に関する業務

企画展では、地元ゆかりの作家の企画展及び松本市や長野県内で活躍する画家等を紹介。常設展では、梓川の歴史や文化遺産、昔の生活を紹介する歴史・民族資料及び地域にゆかりのある芸術家の作品を紹介します。

(2) 施設の運営及び管理に係る業務

親切、丁寧な接客を心掛けるとともに、お客様が気持ちよく利用できるよう、清潔感のある空間を維持します。

(3) 教育普及に関する業務

ア 豊かな感性と表現力を育むため、未就学児向けのワークショップを開催します。また、幅広い年齢層を対象としたワークショップも継続実施し、美術への関心を高めます。

イ 当館への学校見学や中学・高校生の職場体験等を積極的に受け入れることで、郷土への愛着を育み、館への関心を高めます。

3 利用促進対策

(1) 貸室の利用促進に向け松本市美術館との連携を図り、ギャラリー利用希望者に対しアカデミア館を含めた選択肢を提供していきます。

(2) 1階アクセスギャラリーを「みんなのアトリエ」として一般開放し、新規ギャラリー利用者につながるきっかけとなるように働きかけます。

(3) 小学校での「昔の暮らし」社会科見学の受入れ時に、地域のボランティア（コンシェルジュ）と、子どもたちとの世代間交流を促進していきます。

(4) 多くの来場者・参加者にお越しいただけるよう、各種メディアやSNSを通じて積極的に広報活動を行います。また、梓川アカデミア館だより「みんなで梓川アカデミア館へ行こう」を継続発行し、催事予定、ギャラリーなどの利用案内等の情報を発信していきます。

梓川アカデミア館事業一覧（委託料方式のため収入は市の歳入へ）

1 企画展示							
地元ゆかりの作家の企画展及び松本市や長野県内で活躍する画家等を紹介する企画展を開催します。							
	事業名 事業内容	開催期間	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
①	企画展示	9月30日から	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	地元ゆかりの作家の個展を開催予定	10月27日まで	300	80		67	13
②	WS「アートのABC」成果展	12月1日から	50	0		8	△ 8
	連続講座4回で作成したものを展示。来年度のPRにも。	12月15日まで					
3	防火ポスター入賞作品展（松本広域消防局）	12月10日から	50	0		0	0
	松本広域消防局管内の小学生の防火ポスター入賞作品を展示	12月15日まで					
4	市内小中学生 人権啓発ポスター展	1月4日から	100	0		0	0
	市内小中学校の児童・生徒の作成した人権啓発ポスターの作品を展示	1月21日まで					
5	第24回信州梓川賞展	2月3日から	1,500	(市委託事業)			
	梓川流域の風景・文化・行事を描いた絵画等の公募展	3月3日まで					
計			2,000	80		75	5
2 常設展示							
梓川の歴史や文化遺産、昔の生活を紹介する歴史・民族資料及び地域にゆかりのある芸術家の作品を紹介します。							
	事業名 事業内容	開催期間	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	常設展示	通年	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	郷土の歴史を伝える歴史資料、民族資料のほか、梓川出身の写真家中沢義直氏の山岳写真、クラシックカメラコレクションの展示		1,000	120		4	116
②	コレクション展① 上野玄春	4月13日から	200	常設展示収入に含む		8	△ 8
	アカデミア館所蔵作品を任意のテーマで選出し、展示	5月26日まで					
③	コレクション展② 高山晃	7月13日から	200	常設展示収入に含む		8	△ 8
	アカデミア館所蔵作品を任意のテーマで選出し、展示	8月18日まで					
計			1,400	120		20	100
3 教育普及（ワークショップ等）							
松本市やその周辺地域の伝統文化である七夕人形作り講座や布ぞうり講座などに加え、芸術振興を目的とした各種の教育普及事業を展開していきます。							
	事業名 事業内容	開催期間	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
①	未就学児向けワークショップ『アートのABC』	5月18日、7月21日、	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	未就学児を対象とした全4回の連続講座（隔月）	9月14日、11月30日	120	40		54	△ 14
2	布ぞうり作り講座	6月15日	15	8		33	△ 25
	松川村研究会ぞうり部による布ぞうり作り講座						
3	七夕人形作り講座	7月6日	30	3		20	△ 17
	松本の伝統文化である七夕人形の普及、伝承						
④	版画のWS	1月25日	15	15		45	△ 30
	望月信幸氏による版画のワークショップ						
5	ワークショップ『梓川賞展関連』	2月	15	8		50	△ 42
	梓川賞展と連携したWSの開催						
計			195	74		202	△ 128

4 コンサート

アカデミア館のギャラリーを活用したコンサートを開催します。

	事業名 事業内容	開催期間	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	ウィンターコンサート	12月	(人)	(千円)		(千円)	(千円)
	松本市出身または活動拠点が松本近隣の演奏家によるコンサート開催		80	16		50	△ 34
	計		80	16		50	△ 34

5 その他

	事業名 事業内容	開催期間	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	施設利用 (ギャラリー含む)	通年	(人)	(千円)		(千円)	(千円)
			20,000	740		—	740
	合計		23,675	1,030	0	347	683

※ ○数字は新規事業

3 松本市音楽文化ホール

活 動 方 針

1 基本目標

市民の音楽文化の振興と福祉の増進を図ることを目的に設置された施設として、また音楽文化に係る創作、研究、練習、発表及び鑑賞等のための専門性の高い施設として、次の項目を基本目標に掲げ管理・運営を行います。

- (1) 音楽専門ホールとして、国内外の優れた音楽家を招聘し世界最高水準の演奏を提供するとともに、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催を通じ、音楽技術の向上を図ります。
- (2) 松本市出身者や松本市在住で活躍している演奏家による演奏会やセミナーを企画するとともに、市民や音楽団体との共催事業を通じて音楽文化の向上を図ります。
- (3) 県内唯一のコンサート用オルガン及びホール所有のチェンバロを活用した演奏会や講習会を開催し、特色ある事業を展開します。
- (4) 地域に密着した施設として、音楽愛好団体等への活動支援や積極的な育成援助を行います。

2 令和6年度の重点的な取組み

- (1) 国内外で活躍するアーティストを迎えて、クラシックだけでなく多様な音楽ジャンルのコンサートを企画し、市民が気軽にコンサートに足を運べるよう努めます。
- (2) OMFを含む松本ゆかりの音楽家や地元の音楽団体とのネットワークを深め、松本が培ってきた音楽文化の蓄積を活かし、さらに発展させていきます。
- (3) 新しく2名のオルガニスト体制を整え、県内唯一のコンサート用オルガン、ポジティブオルガン等を活用した演奏会や講習会の更なる充実を図ります。
また、アウトリーチ事業、セミナー事業を継続し、地域の音楽文化向上を図ります。

3 利用促進対策

- (1) 利用者懇談会における音楽愛好団体等の意見を参考に、より利用しやすい施設となるよう常に改善を図ります。
- (2) 主催事業やそれに伴うリハーサルは貸館の需要が多い時期(※6月、10月、11月)を可能な限り避けるよう努め、利用者団体の利便性に配慮します。
- (3) リニューアルしたホール公式ホームページを通じて、利用者が知りたい情報をわかりやすく発信するとともに、ホール友の会発行による情報誌「ハーモニー」、SNS (Facebook、X、Instagram) を積極的に活用し、利用促進につなげます。

音楽文化ホール事業一覧

1 自主事業

1 招聘事業							
優れた音響を誇る音楽専門ホールにふさわしい海外からの招聘アーティストによる演奏を含む、質の高い公演を楽しんでいただくことを目的とします。今年度は、ホールの響きを存分に楽しめる室内楽2公演、混声合唱1公演、ブラスバンド1公演を企画します。							
	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
①	セバスチャン・ジャコー&吉野直子 デュオ・リサイタル ベルリン・フィル首席とサイトウ・キネン・オーケストラのベテランによるフルートとハーブの極上の室内楽	6月12日	(人) 500	(千円) 3,500	(千円) 500	(千円) 2,900	(千円) 600
②	ブラック・ダイク・バンド 松本公演 1855年創立、英国の由緒あるブラス・バンド ホールを大熱狂に包むプログラムで再来日を果たします。	11月1日	650	6,500	2,770	6,320	180
③	郷古廉&ホセ・ガヤルド デュオ・リサイタル N響でも活躍する若手トップ・郷古廉が再び松本へ アルゼンチン出身のベテラン、ホセ・ガヤルドとのタッグで聴かせるデュオ・コンサート	11月15日	500	3,000	0	2,100	900
④	東京混声合唱団 松本公演 1956年創団、国内トップの混声合唱団を迎えます。OMFでも話題の指揮者、沖澤のどかが音文では初めてタクトを振ります。	12月7日	620	5,300	2,360	5,210	90
⑤	親子向けコンサート(仮) ファミリー向けコンサート。多世代に来ていただける企画を検討中です。	10月 (調整中)	500	3,000	0	2,010	990
	計		2,770	21,300	5,630	18,540	2,760

2 自主企画事業

(1) 特別自主企画

県内唯一のコンサート用オルガンを活かしたリサイタルの他、翌年度の開館記念イヤーに向けた地域のオーケストラによる記念公演など、「ここでしかできない」公演を目指します。

2 自主企画事業							
	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
①	山田由希子 ホールオルガニスト就任記念コンサート(仮題) 4月に着任するホールオルガニストの就任記念コンサートを、 入場無料で開催します。時代を超えたプログラムで幅広い楽曲をお届け予定	5月24日	(人) 550	(千円) 1,030	(千円) 1,030	(千円) 1,030	(千円) 0
②	松本交響楽団 ニューイヤーコンサート2025(仮題) 2025年はホール開館40周年。ホール開館当初からホールを利用し続けている「松響」による、華やかなシュトラウスのワルツやポルカで記念イヤーのスタートを飾ります。	1月12日	650	1,500	550	1,400	100
	計		1,200	2,530	1,580	2,430	100

(2) 経常自主企画

松本にゆかりの深い演奏家、地元の音楽団体とのネットワークを深めると共に、オルガンなどホール保有の楽器を活用して、幅広い層に向けた公演を企画します。

	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	第45回新人演奏会 長野県ゆかりの音楽大学等の令和6年春卒業・修了者によるコンサート	4月21日	(人) 450	(千円) 830	(千円) 540	(千円) 730	(千円) 100
2	栗形亜樹子 チェンバロ・リサイタル チェンバロ講習会の講師も務める栗形亜樹子による毎年恒例のリサイタル	5月12日	150	700	430	700	0
3	おかえりオルガン Vol. 2(仮題) 令和5年度に好評のコンサートを再び。親しみやすいプログラムで家族で参加できるコンサートをお届けします。	7月28日	260	980	900	980	0
④	レジデント・オルガニスト コンサート(仮題) レジデント・オルガニストと地元のアーティストによるクリスマス・コンサートを予定	調整中	250	550	400	550	0
⑤	オルガン・ジャズコンサート(仮題) ホールオルガニストが企画・出演するコンサート。ジャズ・プログラムでいつもとは違うオルガンの音色をお届け予定	1月25日	550	1,100	0	970	130
6	合唱フェスティバル(仮題) ザ・ハーモニー・フェスティバル代替企画を検討中	調整中	150	810	810	810	0
7	おでかけオルガン ポジティブオルガンを使ったアウトリーチ。各回好評につき、令和6年度は6回の実施を目指します。	調整中	300	750	750	750	0
	計		2,110	5,720	3,830	5,490	230

3 共催事業

松本をベースに活動する芸術団体等との共催事業。主催事業の幅を広げ、ホールのもつネットワークを強化します。

	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
①	オルガン体験会(仮題) 松本オルガン同好会主催。市民団体と協働し、オルガンの普及に努めます。	調整中	(人) 50	(千円) 0	(千円) 0	(千円) 0	(千円) 0
2	OMFふれあいコンサート3公演 セイジ・オザワ 松本フェスティバル 室内楽公演	8月6日から 9月5日まで	1,800	20	0	0	20
③	こぼんだウインドアンサンブル 松本公演 上野耕平率いる新星吹奏楽団、「ぼんだウインドオーケストラ」のメンバー7名による小編成版コンサート	9月15日	600	30	0	0	30
4	ハーモニーメイト主催事業 「ホール友の会」が企画する「今、聴きたい」コンサート	調整中	300	10	0	0	10
5	第38回ニューイヤー松本ボーカルフェスティバル 地元ゆかりのボーカリスト共演コンサート	2月2日	300	10	0	0	10
⑥	OMF特別公演 SKOプラス・アンサンブル 2015年、音楽文化ホールから生まれたプラス・アンサンブル4回目の日本ツアーの初日公演を予定	2月13日	650	30	0	0	30
⑦	ピアノ・リサイタル(仮) 地元のメディアと協力した事業を調整中	調整中	650	0	0	0	0
	計		4,350	100	0	0	100

4 セミナー事業

ホール所有のオルガン、チェンバロを生かした講習会を開催します。また、優れた演奏家による高校生等を対象としたクリニックの開催、コンサート招聘アーティストによるレッスン・セミナー事業を継続し、音楽技術の向上を図ります。

	事業名 事業内容	開催回数	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
			(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
1	第23期チェンバロ講習会 講師＝栗形亜樹子（バイエル修了者対象）	5回	14	740	600	740	0
2	初めてオルガン(第65, 66回オルガン講習会) 講師＝小林淳子（一般市民対象）	2×5回	24	240	0	110	130
3	オルガンレッスン（基礎） 講師＝小林淳子	通年	5	250	0	10	240
4	オルガンレッスン（発展） 講師＝山田由希子	通年	12	1,660	940	1,660	0
⑤	こぼんだウインドアンサンブルレクチャー 地域の中高生に、少人数でも楽しめる「吹奏楽」やアンサンブルの技術を、プロが直接レクチャー。	9月14日	100	120	120	120	0
⑥	ピアノ調律技能講習会(仮題) コンサート・ピアノを調律できる技能を第一線で活躍する調律師から学びます。	調整中	20	590	590	590	0
7	管楽器&指揮法クリニック 講師＝洗足学園講師陣（高校生対象）	調整中	80	750	750	750	0
	計		255	4,350	3,000	3,980	370

5 その他

	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
			(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
1	事業共通費	通年	—	6,000	5,960	7,310	△ 1,310
2	連携事業費	通年	—	0	0	2,250	△ 2,250
	計			6,000	5,960	9,560	△ 3,560
	合計		10,685	40,000	20,000	40,000	0

※ ○数字は新規事業

2 貸館事業

目標	利用料金収入	19,600千円
----	--------	----------

- (1) 施設全体を良好な状態に保ち、利用される皆様に気持ちよくご利用いただくために、相手の立場に立った親切な対応を心がけます。
- (2) 主催公演だけでなく、一般利用者の公演もホームページで積極的に紹介するなど、顧客サービスに努め利用者・鑑賞者の増加につなげます。

3 音楽文化活動支援事業

- (1) 音楽団体の活動支援
 - ア 登録団体制度に基づいて使用料を一部減免し、地域における音楽団体の活動を支援します。
 - イ 音楽団体等の演奏会情報等を広く周知するため、ホール情報誌「ハーモニー」（ハーモニーメイト編集・発行）に掲載します。
- (2) ハーモニーメイトの育成援助
団体の自主性を尊重し、事業に協力するとともに育成・援助をします。
- (3) 音楽関係相談業務
各種演奏会開催に係る、出演者、コンサート企画等についての相談業務を行います。
- (4) 演奏ボランティア
お出かけオルガン以外にも、オルガニストによる演奏ボランティアを行います。

4 まつもと市民芸術館

活動方針

1 基本目標

まつもと市民芸術館管理運営方針に定める「目指す姿」達成のため、次の項目（運営の柱）を掲げ、管理・運営を行うこととします。

(1) 目指す姿

誰もが文化芸術に親しみ、創造できる環境を整えることにより、市民の心の豊かさを育むとともに、まちの賑わいにつなげます。

(2) 運営の柱

- ア 質の高い水準の芸術文化を創造・鑑賞する場とします。
- イ 市民の芸術文化の創造を支援し、交流・発表の場とします。
- ウ 次代を担う子どもたちに必要な力を養う場とします。
- エ 松本のまち全体に活気をもたらす場とします。
- オ 多様な人材によるスタッフの雇用に努めます。

2 令和6年度の重点的な取組み

- (1) 新たに迎えた芸術監督団のもと、社会情勢の変化とともに多様化し、より専門化している文化芸術へのニーズに対応した事業を行います。
- (2) 「松本発」のクリエイション作品を引き続き国内外に発信するとともに、芸術館の舞台施設・設備を活用した文化芸術作品の招聘に努めます。
- (3) 市民団体の行う文化芸術活動を支援するとともに、発表の場として芸術館を活用できるような取組みを進めます。
- (4) 次代を担う子どもたちの想像力と創造力、またコミュニケーション力を養うため、芸術文化に触れる機会を創出します。
- (5) 市民、地元企業との協働による街全体を舞台としたイベントを継続して実施します。
また、次世代、多様性を重視した賑わい創出のため、シアターパークなどの市民が自由に出入りできるスペースの有効活用を行います。
- (6) 芸術監督団による作品創造等の具現化、質の高い芸術作品の招聘及び市民の要望に応えるアウトリーチ事業の実施のため、松本の芸術文化振興に寄与することを意識した多様な人材を採用し、経営感覚を含めたスタッフの育成に努めます。

3 利用促進対策

- (1) 市民や観覧者の要望を把握するため、アンケート調査等を実施します。その結果は公演ラインナップ編成時の参考とします。
- (2) 販売促進のため、チケットクラブ会員を対象とした自主事業（公演）のチケット先行販売などの対策を進めます。
- (3) 次代を担う子どもや若者の芸術文化及び芸術館への理解を深めるため、中学・高校・大学等の職場体験やインターンシップを積極的に受け入れます。

- (4) 気軽に来館を促す取組みの一環として、インフォメーションコーナーや撤去したエスカレーター跡地などに、自主事業（公演）に関する書籍・資料等、文化芸術に関する資料等を展示します。
- (5) 一定の温度、湿度に保たれている芸術館の環境を多くの方に利活用してもらうため、シアターパークやフリースペース等の周知を行います。
- (6) 松本市が進める施設・設備等の改修工事について、施設管理と利用者目線の双方から適切な助言・提言を行い、事業の推進に協力します。

まつもと市民芸術館事業一覧

1 自主事業

(1) 創造、発信型事業

芸術監督団の企画が始動します。幅広い年齢層に訴求できる音楽、ダンス、演劇等様々なジャンルのバラエティにとんだ公演制作を行います。

	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
①	0歳児からのコンサート（仮題）	4月21日	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	年齢制限を排したコンサート、芸術監督団事業第一弾		700	11,000	8,500	11,000	0
②	『女40歳肉屋のムスメ』	5月中旬	700	23,000	11,500	23,000	0
	福士誠治演出、オーディション選出の地元俳優も出演						
③	『信仰する、または愛することについて』（仮題）	6月8,9日	700	10,000	6,500	10,000	0
	倉田翠演出のダンス公演、akakilikeの新作、世界初演	7月東京					
④	『殿様と私』	2月	2,000	35,000	30,000	35,000	0
	読売演劇賞受賞のマキノノゾミの名作を自身の演出で	大阪あり					
5	チャオ！バンビーニ『ローリーの怪奇骨董お話箱』	2月	600	3,000	1,500	3,000	0
	子供にも大人にも好評なローリーの音楽と朗読の世界						
⑥	古典企画①	調整中	150	3,500	2,600	3,500	0
	テーマに即したバラエティに飛んだ寄席芸の数々						
⑦	古典企画②	調整中	150	3,500	2,600	3,500	0
	音楽と朗読で綴る名作古典の世界						
	計		5,000	89,000	63,200	89,000	0

(2) 鑑賞・招聘型事業

施設の各舞台空間を十分に活用するジャンルを考慮し、演劇・伝統芸能、ダンス等、様々なジャンルの作品を幅広い年齢層に向けて提供します。夏休みには子供向け企画を充実させます。

	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
①	『リア王』（共催）	5月2日	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	ショーン・ホームズ演出、段田安則主演で沙翁の悲劇を上演		800	200	0	0	200
②	『La Mere 母』	6月13日	700	8,000	4,700	8,000	0
	『父』『息子』に続くフロリアン・ゼラールの三部作。						
③	ミュージカル『この世界の片隅に』（共催）	7月5日	3,000	300	0	0	300
	アニメ化、ドラマ化もされた名作をミュージカル化	～7日					
④	チャオ！バンビーニ『図書館司書くん』	8月	240	2,000	1,000	2,000	0
	カナダ・トロントからの招聘、ソロモダンサーカス						
⑤	チャオ！バンビーニ『らんぼうものめ』	8月	240	6,300	5,100	6,300	0
	加藤拓也作・演出、自身初の子供向け作品						
⑥	チャオ！バンビーニ『死んだかいぞく』	8月31日	120	5,000	4,150	5,000	0
	下田昌克の絵本をノゾエ征爾が音楽劇に						
⑦	身体と音楽	8,9月	200	2,000	1,100	2,000	0
	身体と音楽で見せる小作品。劇場外（屋外含む）で上演						
⑧	木ノ下歌舞伎『三人吉三』	10月5,6日	1,200	12,000	1,700	12,000	0
	名作歌舞伎の木ノ下版。全5時間の上演						
⑨	ミュージカル『ファンタスティクス』（共催）	10月下旬	1,000	200	0	0	200
	オフ・ブロードウェイの新作ミュージカルを新演出で						
⑩	石丸幹二・クリヤマコトコンサート	11月8日	150	3,000	1,500	3,000	0
	石丸幹二とジャズピアニストとのコンサート						

⑪	チャオ！バンビーニ秋『UP and DOWN』	11月23日	500	3,000	2,000	3,000	0
	ひびのこづえプロデュースのダンスパフォーマンス	24日					
⑫	ダンス『魔笛』	1月	700	6,500	2,500	6,500	0
	モーツァルトの歌劇を舞踏で						
⑬	三谷幸喜新作（共催）	3月	2,000	200	0	0	200
	東京サンシャインボーイズ解散後30年公演						
⑭	マスタークラス（共催）	3月	1,000	100	0	0	100
	マリアカラスの生涯を森新太郎の演出で						
計			11,850	48,800	23,750	47,800	1,000

(3) 教育普及・育成・市民参加型事業

市民に鑑賞だけでなく、表現の場も提供します。更に、セイジ・オザワ松本フェスティバル実行委員会との共催により、「子どものためのオペラ」を開催するとともに、フェスティバル成功に向け、人的・物的な支援・協力を行います。

	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	高校演劇春季講習会 高校演劇をサポート、技術を中心とした講習会	5月24日 ～26日	80	220	0	220	0
2	台本づくり講座 演劇の台本を書く講座。オムニバスの朗読劇として上演	講座5月 上演8月	120	2,000	1,500	2,000	0
3	OMFこどものためのオペラ（共催） オペラ鑑賞の第一歩として	8,9月	4,000	20	0	0	20
4	高校演劇中信地区大会 高校演劇をサポート、県大会前の中信地区大会	9月17日 ～22日	400	0	0	0	0
5	まつもと演劇工場 様々なジャンルの体験型ワークショップなど	通年	400	3,500	1,900	3,500	0
6	山本卓卓ワークショップ 中高生対象：出演とともに、脚本や演出、空間づくりなど、演劇制作の工程を体験	通年	80	1,100	1,000	1,100	0
7	ダンスワークショップ 体を動かすことから表現することまで、あらゆる世代対象	通年	200	2,500	1,800	2,500	0
8	バックステージツアー 普段は立ち入ることの出来ないゾーンへの体験ツアー	3月	180	20	10	20	0
9	まつもと市民オペラ 市民による市民のためのオペラ・隔年で上演、今年は練習の年	通年	50	5,000	4,500	5,000	0
10	シアターパーク企画 劇場の特色であるシアターパークを活用した上演、季節装飾など	通年	200	2,300	500	2,300	0
計			5,710	16,660	11,210	16,640	20

(4) 観光・地域活性型事業

街の賑わい創出に寄与します。

	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	信州まつもと大歌舞伎 松本の夏の風物詩。関連事業もあり	7月	(人) 12,000	(千円) 30,000	(千円) 30,000	(千円) 30,000	(千円) 0
2	まつもとアート事業 商店街と連携したフェスティバル	9月	17,000	10,000	10,000	10,000	0
計			29,000	40,000	40,000	40,000	0

(5) アウトリーチ事業

劇場に来ることの困難な世代、地域へ演劇公演などを届け、文化をより身近なものにする動機づけとします。

	事業名	開催日	見込み				
	事業内容		入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	アウトリーチ	通年	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	市内外の施設へ出向いて公演		1,000	1,300	800	1,300	0
	計		1,000	1,300	800	1,300	0

(6) その他

実際に劇場で鑑賞する機会のない市民や全国へも芸術館の活動を広報します。また単なる劇場のPRやアーカイブを超えた広報誌を発行します。

	事業名	開催日	見込み				
	事業内容		入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	事業共通費	通年	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	共通広報費、記録費など		—	23,490	4,040	24,510	△ 1,020
2	連携事業費	通年	—	3,000	0	3,000	0
	計		0	26,490	4,040	27,510	△ 1,020
	合計		52,560	222,250	143,000	222,250	0

※ No.欄の○数字は新規事業

2 貸館事業

目標	利用料金収入	38,000千円
----	--------	----------

- (1) 利用者の興行や催事等成功のため、専門的な立場から支援します。
- (2) 一般利用の開館時間は、午前8時30分から午後10時ですが、利用計画により柔軟に対応します。
また、休館日も利用の少ない日に設定するなど利用者の要望に応えます。
- (3) 松本観光コンベンション協会など関連団体と連携し、文化芸術活動からコンベンション利用まで、幅広い受け入れを図ります。

3 協働推進事業

- (1) 来館・観覧者へのサービス向上のため、職員及びボランティアを対象に、劇場フロントスタッフのための技術習得や、接遇等の技能向上を図る各種研修・育成事業をまつもと市民芸術館ボランティアの会と協力して実施します。また、来館者の安全確保のため、発災時に備えた訓練等を関係者と協力して定期的を実施します。
- (2) 松本市や近隣の地区・町会が行う防災訓練等に協力します。

4 その他

公演に支障が出ないように、市と連携して適切な施設の維持管理に努めます。

5 松本市波田文化センター

活 動 方 針

1 基本目標

- (1) 小ホールながら多目的な利用を図れる特徴を活かした幅広い利用を図ります。
- (2) 自主事業においては、西部地域の学校や団体との関わりを大切にし、鑑賞の場だけではなく、アウトリーチ事業などを引き続き積極的に行っていきます。
- (3) 貸館にあたっては、地域に密着した施設として音楽愛好家団体等の活動の援助する一方で、広く利用いただけるように努めます。

2 令和6年度の重点的な取組み

- (1) 松本市の西部地域の文化の拠点として、地元の団体、保育園、学校等と連携していく中でワークショップやアウトリーチを行い、身近に芸術と触れ楽しんでいただき、創造する楽しさを実感できる機会を提供します。
- (2) 「はた映画上映会」はリピーターのお客さまが多くを占めており、恒例の事業として定着しています。R4年度に好評だった優秀映画上映会を再度企画し、35mmでの上映会を前回以上に多くの方に楽しんでいただきます。
- (3) 新たな取り組みとして5年度から始めた市民参加型の合唱の企画は、予想以上に参加者の輪が広がりを見せており、6年度も継続して行っていく予定です。
- (4) 幼児から低学年向けの大型人形劇は近年鑑賞機会も少なくなっていることから夏休みのホール体験として、気軽に親子で楽しめるように企画します。

3 利用促進対策

- (1) 利用者の立場に立った専門的技術支援を行うなど、充実した催事となるよう支援し、次回の利用につなげます。
- (2) 来館者アンケートの結果を参考にするなど、利用者の要望に柔軟に対応してまいります。
- (3) 経年劣化に伴う故障が、利用の妨げにならないよう、保守点検等の管理体制により施設の適正な維持保全に努めます。

波田文化センター事業一覧

1 自主事業

(1) 鑑賞型事業

幅広い年齢層にお越しいただけるように、音楽、人形劇、映画と多様なジャンルのプログラムに配慮します。地域の方々を中心に足を運んでいただき舞台鑑賞を楽しんでいただけるように努めます。

	事業名 事業内容	開催日	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	「作品未定」※交渉中	8月	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	(幼児～小学生向けの大型人形劇)		200	1,000	780	1,000	0
2	「はた映画上映会」	通年4回					
	(上質な映画を楽しんでいただける映画上映)		560	1,070	600	1,070	0
3	オトノイロVol.13	未定					
	(音響を生かしたコンサート)		210	300	90	300	0
計			970	2,370	1,470	2,370	0

(2) 市民参加型事業

新しくスタートした合唱の企画が好評だったことから継続していきます。恒例となっているベーゼンドルファーを一般の方に弾いてもらえる機会も、2つの形で用意し楽しんでいただきます。

	事業名 事業内容	開催時期	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	「うたの楽しみ」	通年6回	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	(合唱曲を楽しむ参加型企画)		480	430	190	430	0
2	「第24回ピアノカーニバル」	9月					
	(ベーゼンドルファーの市民コンサート)		25組	170	120	170	0
3	「来て、観て、笑って、弾いてみて、ベーゼンドルファー」	2月					
	(ベーゼンドルファーの自由演奏)		20組	20	10	20	0
計			525	620	320	620	0

(3) ワークショップ、アウトリーチ事業

	事業名 事業内容	開催時期	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	子ども向けのWSまたはアウトリーチ	未定	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
	(気軽に舞台芸術に触れていただける催事)		50	100	100	100	0
計			50	100	100	100	0

(4) その他

	事業名 事業内容	開催時期	見込み				
			入場者数	収入 A	Aのうち補助金等	支出 B	A-B
1	事業共通費	通年	(人)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
				10	10	10	0
合計			1,545	3,100	1,900	3,100	0

※ ○数字は新規事業

※ (2) 市民参加型事業の2・3について 入場者数の『組』は1人以上～人数制限なし

2 貸館事業

目標	利用料金収入	2,500,000円
----	--------	------------